

令和1年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495100057	事業の開始年月日	平成18年8月1日
		指定年月日	平成30年8月1日
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート川崎		
所在地	(〒212-0053) 神奈川県川崎市幸区下平間357-2		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和2年1月4日	評価結果 市町村受理日	令和2年4月23日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今年度はお客様、スタッフともに食事を楽しむことに力を入れています。一つのテーマを決めて、それに沿ったメニューを考案して楽しもうというものです。中華やあんこ等決まったテーマで食べる事や館内の装飾等、雰囲気を感じて楽しんで頂けるように力を入れています。また、外出についても花見や新横浜のラーメン博物館に出かけたりして飽きが出ないように適宜企画し、施設運営を心掛けています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	令和2年1月30日	評価機関 評価決定日	令和2年3月6日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の優れている点】 ◇経営理念に基づき職員が考えた事業所理念とその共有化 ・法人として社是、経営理念と心得が明確化しており、事業所では更に職員による介護理念が設定されている。介護理念は、ガーデン(GARDEN)の6個の頭文字「グループの結集、ありがとう、ルール遵守、出会いを大切に、エネルギッシュな活動、和やかにケアする」を示しており、それぞれ実践に繋げている。理念は、玄関と各ユニットの事務室に掲示して、全職員が共有し支援活動の心構えとしている。 ◇災害など非常時への対応 ・災害などの非常時の避難経路図を、各ユニットに掲示している。備蓄品の管理リストが整備され、非常持ち出し袋が準備されるなど、災害・非常時への対応がなされている。 【事業所が工夫している点】 ◇行事食のため、事前に外出についての年間計画を策定 ・利用者が楽しみにしている行事食のためもあり、年間計画に月1~2回の外出を入れている。 ◇玄関にデジタルフォトフレームを設置 ・馴染みの人や家族の来訪時、利用者の状況を写真で確認出来るよう設置されており、3か月に一度写真を更新している。
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム ガーデンコート川崎
ユニット名	ユニット1(2階)

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念、社是を掲示しています。お客様、家族、地域に貢献することを念頭に、運営していきたいと考えています。	・職員間で話し合い、事業所の理念を作成している。理念は、事業所の名称のGARDENを頭文字として、利用者、家族、地域への貢献を明確に表明し、実践している。 ・理念は、玄関他各ユニットに掲示し、共有化を図っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議を開催して家族、協力医療機関、行政の方を招いています。地域包括支援センター主催の認知症カフェに参加しています。	・地域包括支援センター主催の認知症カフェに参加している。 ・フラダンス、ピアノ演奏等のボランティアを受け入れている。 ・利用者は、近くの公民館での行事に参加している。	・地域交流について、自治会、近隣住民、民生委員、社会福祉協議会などとの、更なる交流の拡大が期待されます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括支援センターの認知症カフェで地域の交流を行ったり、事業所の紹介を行いました。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を行い、事業所の報告を行っています。また助言を頂いたり、感染症等の対策等医療機関からご指導を頂きサービス向上に活かしています。	・運営推進会議は、2か月毎に開催し、家族、地域包括支援センター、市職員、医療機関、事業所職員が参加している。 ・医療機関から、感染症対策等の改善について指導を受け、サービスの向上に活かしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	定期的に運営推進会議にお招きし、ご出席して頂いています。適宜情報交換を行っています。	・事業所は、市の介護保険課と常に情報交換をしている。 ・地域包括支援センターとは、認知症カフェへの利用者の参加を通して交流している。事業所内に認知症カフェを設置する案についても相談、検討している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年に2回職員の個別研修、採用時の研修、昨年度より常勤会議にて身体的拘束排除の会議を実施し、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	・職員の常勤会議で年2回「身体拘束適正化委員会」を開催し、情報を共有して身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 ・事業所内研修でも身体拘束に関する研修を年2回実施し、拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止の研修を職員の個別研修を行っています。虐待につながらないように、職員のストレスケアにも留意した運営を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現状は研修未実施ですが、今後理解に向け研修などを通じ研鑽していきたいと考えています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退去時の契約及び解約時には書面を用いて説明を行っています。また介護保険法の改正時期前、加算取得時にも既存のお客様への説明をし、同意を頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	今年度はご家族様アンケートは未実施となっております。ご家族様へのご要望等があった場合は、適宜事業所内で共有をし運営に反映させています。	・家族には、これまでアンケートを実施して意見・要望を聞き運営に反映してきたが、今年度は未実施である。 ・運営推進推進会議に参加する家族代表から意見を聞き、運営に反映させている。	・これまで取り組んでこられた「家族アンケート」を継続して、利用者や家族の意見や要望を運営に反映させることが望まれます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	拠点会議、各フロアのミーティングで意見を集め、常勤会議で議論しています。昨年度よりまた社員総会があり、意見や要望を聞く機会があります。	・月1回のフロアミーティング、常勤会議を実施し、意見や要望を聞き運営に反映している。 ・3か月に1回、責任者が全職員と定期面談を実施している。 ・年1回全社で、社員総会を実施し全社課題を討議している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	必要に応じて面談をして、職員や職場の環境の把握に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入社員育成プログラム、複数の拠点と合同の研修など、法人全体で取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市の事業所連絡会などに参加してケアマネージャー、同業者の方と情報交換や交流を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	最初のアセスメントを大切にしています。本人、家族の話聞き、小まめに連絡を取り合うことで安心して利用していただくように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お客様と家族の話を聞く時間を多く取って、ニーズを聞きだすように心がけています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お客様と家族の今までの背景を知り、現在困っていること、これから起こりうることへの提案を行えるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活する中で孤立しないように、職員と行えることを見つけて支援を行っていきます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お客様にこれから起こりうるであろう事を家族と共有し、こちらができる提案をして理解を深めていただく。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の機会を作っていただくようお願いしています。時間に縛りなく面会の対応をしています。また入口玄関には、来訪者が見れるようにデジタルフォトフレームを置き、普段のお客様の写真が見れるようにしています。	・面会以外に馴染みの人との連絡には、手紙、写真、はがき等で連絡するようにしている。 ・玄関にデジタルフォトフレームを置き、来訪者に利用者の状況が見られるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	生活する中で孤立しないように、お客様同士で行えることを見つけて支援を行っていきます。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今までそういったケースはありませんが、相談があれば対応していきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お客様と関わっていく中で、希望を言い合える関係を築くように努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の思いや意向は、家族や本人との面接やアセスメント内容から確認している。 ・困難な場合は、利用者の表情、行動など日常の支援、行事、レクリエーションを通して把握している。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や暮らし方、生活環境はアセスメントの段階で細かく把握して職員で共有に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の変化に敏感になり、変わった様子があれば報告、記録するようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要に応じて主治医、看護師、ご家族、管理者などでカンファレンスを行っている。計画作成に生かしています。	・家族の意向、利用者のアセスメント結果をベースに主治医、看護師、家族、職員の意見を反映し、6か月間の介護計画を作成している。 ・介護計画に基づき、カンファレンスを実施している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員には個々に、お客様の变化、気づきを記録をさせている。申し送りで共有できるようにしています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お客様、ご家族と日々接する中でニーズをつかみ、サービスの提案ができるようにつとめています。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括主催の認知症カフェにお客様と参加しています。			
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関と提携し、さまざまなことを相談できる関係であり、看護師とは24時間連絡がとれる体制にあります。	・医療機関と提携し、月2回の訪問診療を受けている。 ・歯科医は、週1回の出張対応で、事業所内で治療をしている。 ・かかりつけ医受診には、家族、職員が同行している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	お客様を医療的な面から見てもらっています。介護職員の疑問、相談できる関係を築けています。また今年度より看護師を配置し往診の立ち合いや薬剤師との情報共有に努め安心して医療サポートが行えるように支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族、担当医と密に連絡を取り、退院に際してのムンテラでは、その後の支援に反映させています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	話し合いにて本人、ご家族の意向を把握し、私たちのできるサービスの提案をします。また、今年度より医療連携体制加算を取得し、看取りの指針を全お客様と締結しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りに関しては、今年度8月から対応できるようになり、すべての利用者と契約を交わしている。 ・研修は年1回行っている。研修を受けた職員は、研修記録を作成し提出している。 	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応は各フロアでフローチャートを掲示しています。特に夜勤者には急変時の対応説明を周知しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練、停電時の対応の研修を実施しました。備蓄食料品を実際に食べお客様の嚙下状態等の把握も行いました。職員へ周知徹底しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は、年2回（1回は夜間を想定）行っている。水害を想定した1階から2階への避難訓練も実施している。 ・備蓄品はリスト化し、6か月ごとに更新している。電気や水を使わない日を年1回設け、備蓄品で食事をしている。 	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員へプライバシー保護、職業倫理、接遇等研修を実施し、日頃から不適切なケアが無いよう啓蒙しています。	・職員は、トイレの前にドアをノックし、使用中はドアを閉めることに注意を払っている。 ・書類やパソコンは開きっぱなしにしないよう、また申し送りなどでは、利用者に名前が聞こえないようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様の希望と、現実に沿った提案をして、本人に選んでいただけるように促しています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様のペースにあった支援をするように指導しています。個人個人をよくみることで対応しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整容の介助、身だしなみに注意するように呼びかけています。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様の食べやすい、飲み込みやすい形状にするなどしておいしく召し上がっていただくように対応しています。	・職員は利用者の残食から、好みを把握するようにしている。 ・あんこ会やラーメン博物館へ行くなどの行事を月1回計画して、食を楽しめるよう支援している。 ・下膳やテーブル拭きなどを手伝う利用者もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、定時の水分補給に加え、入浴後や運動後に汗をかいた時にも少量ずつ摂取していただけるように提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛け、介助で残物がないようにケアしています。また口腔衛生加算を取得し、歯科衛生士と情報交換、指導、助言を頂き継続的な支援を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	可能な限りはトイレで排泄していただくケアを行っています。状況によっては居室内にポータブルトイレを設置して対応しています。	・利用者はできるだけ布パンツやリハビリパンツで過ごし、職員が排泄記録をつけ、タイミングをみてトイレに誘っている。 ・利用者一人一人の状況に応じた支援のあり方を考え、見守りに徹することもある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事、水分を適切に摂取し、運動により腸を動かすことを基本としています。解消されない場合は処方された薬の服薬によって支援をします。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週3回の入浴支援を行い、皮膚状態を良好に保つようにしています。	・週3回の入浴を原則とし、嫌がる利用者も声かけを工夫して入浴を勧めている。利用者の状況に合わせて、足浴にすることもある。 ・ゆず湯や菖蒲湯で季節を感じたり、入浴剤で温泉気分を味わえるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人のペース、睡眠サイクルを把握して快適に眠っていただくように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方の変更時には特に、目的、作用について職員に伝え、変化あれば報告を頂いています。また往診時は薬剤師も同行しており、相談体制が確立されています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外気浴、散歩は毎日できるように心がけています。気分転換につながるように支援を行います。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	筋力低下を防ぐためになるべく歩いていただくことを促しています。ご家族との外出も協力をお願いしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・近くのスーパーに日用品の買物に行く利用者には、職員がサポートしている。 ・家族と一緒に買物や食事に出かける利用者もいる。 ・花見などのレクリエーションには職員が車で送迎している。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現状は事務所で管理をしています。買い物のご要望があった場合は本人を連れスーパーに買い物に出かけたり代行しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望されるお客様には、ご家族のご都合を聞いてかけていただいています。特に制限はございません。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境整備をこころがけ、フロアの装飾には季節ごとのテーマをもって、お客様と作成した作品等を飾っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・温湿度は、利用者の様子を見て調整している。クーラーの吹き出し口に布をかけ、直接風が当たらないように工夫している。 ・季節の飾りを、職員と利用者で手作りし、リビングルームの壁に掛けている。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有フロアに複数のソファを配置して、お客様の気分に沿って過ごしていただくようになっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具をお持ちいただき配置しています。本人の過ごしやすい環境を目指しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン、照明、カーテン、温度湿度計は備え付けで、介護ベッドは必要な場合に備えている。 ・冬場は湿度を上げるため濡れタオルを部屋に吊るしている。 ・居室の掃除は職員が行っているが、手伝う利用者もいる。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援を基本として、建物の設備はお客様が使用しやすいところに位置しています。		

事業所名	グループホーム ガーデンコート川崎
ユニット名	ユニット2 (3階)

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念、社是を掲示しています。お客様、家族、地域に貢献することを念頭に、運営していきたいと考えています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議を開催して家族、協力医療機関、行政の方を招いています。地域包括支援センター主催の認知症カフェに参加しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括支援センターの認知症カフェで地域の交流を行ったり、事業所の紹介を行いました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を行い、事業所の報告を行っています。また助言を頂いたり、感染症等の対策等医療機関からご指導を頂きサービス向上に活かしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	定期的に運営推進会議にお招きし、ご出席して頂いています。適宜情報交換を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年に2回職員の個別研修、採用時の研修、昨年度より常勤会議にて身体的拘束排除の会議を実施し、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止の研修を職員の個別研修を行っています。虐待につながらないように、職員のストレスケアにも留意した運営を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現状は研修未実施ですが、今後理解に向け研修などを通じ研鑽していきたいと考えています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退去時の契約及び解約時には書面を用いて説明を行っています。また介護保険法の改正時期前、加算取得時にも既存のお客様への説明をし、同意を頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	今年度はご家族様アンケートは未実施となっております。ご家族様へのご要望等があった場合は、適宜事業所内で共有をし運営に反映させています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	拠点会議、各フロアのミーティングで意見を集め、常勤会議で議論しています。昨年度よりまた社員総会があり、意見や要望を聞く機会があります。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	必要に応じて面談をして、職員や職場の環境の把握に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入社員育成プログラム、複数の拠点と合同の研修など、法人全体で取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市の事業所連絡会などに参加してケアマネージャー、同業者の方と情報交換や交流を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	最初のアセスメントを大切にしています。本人、家族の話聞き、小まめに連絡を取り合うことで安心して利用していただくように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お客様と家族の話を聞く時間を多く取って、ニーズを聞きだすように心がけています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お客様と家族の今までの背景を知り、現在困っていること、これから起こりうることへの提案を行えるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活する中で孤立しないように、職員と行えることを見つけて支援を行っていきます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お客様にこれから起こりうるであろう事を家族と共有し、こちらができる提案をして理解を深めていただく。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の機会を作っていただくようお願いしています。時間に縛りなく面会の対応をしています。また入口玄関には、来訪者が見れるようにデジタルフォトフレームを置き普段のお客様の写が見れるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	生活する中で孤立しないように、お客様同士で行えることを見つけて支援を行っていきます。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今までそういったケースはありませんが、相談があれば対応していきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お客様と関わっていく中で、希望を言い合える関係を築くように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や暮らし方、生活環境はアセスメントの段階で細かく把握して職員で共有に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の変化に敏感になり、変わった様子があれば報告、記録するようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要に応じて主治医、看護師、ご家族、管理者などでカンファレンスを行っている。計画作成に生かしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員には個々に、お客様の変化、気づきを記録をさせている。申し送りで共有できるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お客様、ご家族と日々接する中でニーズをつかみ、サービスの提案ができるようにつとめています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括主催の認知症カフェにお客様と参加しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関と提携し、さまざまなことを相談できる関係であり、看護師とは24時間連絡がとれる体制にあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	お客様を医療的な面から見てもらっています。介護職員の疑問、相談できる関係を築けています。また今年度より看護師を配置し往診の立ち合いや薬剤師との情報共有に努め安心して医療サポートが行えるように支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族、担当医と密に連絡を取り、退院に際してのムンテラでは、その後の支援に反映させています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	話し合いにて本人、ご家族の意向を把握し、私たちのできるサービスの提案をします。また、今年度より医療連携体制加算を取得し、看取りの指針を全お客様と締結しました。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応は各フロアでフローチャートを掲示しています。特に夜勤者には急変時の対応説明を周知しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練、停電時の対応の研修を実施しました。備蓄食料品を実際に食べお客様の嚥下状態等の把握も行いました。職員へ周知徹底しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員へプライバシー保護、職業倫理、接遇等研修を実施し、日頃から不適切なケアが無いよう啓蒙しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様の希望と、現実に沿った提案をして、本人に選んでいただけるように促しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様のペースにあった支援をするように指導しています。個人個人をよくみることで対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整容の介助、身だしなみに注意するように呼びかけています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様の食べやすい、飲み込みやすい形状にするなどしておいしく召し上がっていただくように対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、定時の水分補給に加え、入浴後や運動後に汗をかいた時にも少量ずつ摂取していただけるように提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛け、介助で残物がないようにケアしています。また口腔衛生加算を取得し、歯科衛生士と情報交換、指導、助言を頂き継続的な支援を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	可能な限りはトイレで排泄していただくケアを行っています。状況によっては居室内にポータブルトイレを設置して対応しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事、水分を適切に摂取し、運動により腸を動かすことを基本としています。解消されない場合は処方された薬の服薬によって支援をします。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週3回の入浴支援を行い、皮膚状態を良好に保つようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人のペース、睡眠サイクルを把握して快適に眠っていただくように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方の変更時には特に、目的、作用について職員に伝え、変化あれば報告を頂いています。また往診時は薬剤師も同行しており、相談体制が確立されています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外気浴、散歩は毎日できるように心がけています。気分転換につながるように支援を行います。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	筋力低下を防ぐためになるべく歩いていただくことを促しています。ご家族との外出も協力をお願いしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現状は事務所で管理をしています。買い物のご要望があった場合は本人を連れスーパーに買い物に出かけたり代行しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望されるお客様には、ご家族のご都合を聞いてかけていただいています。特に制限はございません。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境整備をこころがけ、フロアの装飾には季節ごとのテーマをもって、お客様と作成した作品等を飾っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有フロアに複数のソファを配置して、お客様の気分に沿って過ごしていただくようになっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具をお持ちいただいて配置しています。本人の過ごしやすい環境を目指しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援を基本として、建物の設備はお客様が使用しやすいところに位置しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム
ガーデンコート川崎

作成日 令和2年3月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	・地域交流について、自治会、近隣住民、民生委員、社会福祉協議会などの、更なる交流の拡大が期待されます。	・旧小規模多機能スペースに「認知症カフェ」の設置を検討中。	・現在は地域包括の方々と話し合いを進めている段階である。	令和2年度中
2	6	・これまで取り組んでこれら「家族アンケート」を継続して、利用者や家族の意見や要望を運営に反映させることが望まれます。	・「家族アンケート」の実施または、運営推進会議への参加を促す。	1：玄関にアンケート用紙等を設置して、意見や要望を伝えやすい環境をつくる。 2：運営推進会議への参加を促し、生の声を聞かせて頂く場を設ける。	1：2020.4月～2020.9月までにアンケート用紙の設置。 2：随時開催。
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。